

西賀茂中学校ブロックの小中一貫教育

小中一貫教育構想図

【小中一貫9年間の教育目標】

「自ら学び考え、自己を高めようとする子どもの育成」

<西賀茂中学校 教育目標> 「心身ともに健康で、 知・徳・体の調和のとれた生徒の育成」 ～自ら学び考え、仲間と共に自己を高めよう とする子どもの育成～	<柗野小学校 教育目標> 「ともに学び ともに育つ」 ～大切にしたい3つのキーワード 「当たり前のことを当たり前、 背伸び、感謝」～	<大宮小学校 教育目標> 「人とつながり、 未来を創造する子をめざして」 ～自ら学び・考え・行動する子どもの育成～
--	---	---

【9年間で目指す子ども像】

- * 目標を明確にし、進んで学ぼうとする子ども。 **知【確かな学力】**
- * 自らを律し、心豊かで思いやりのある子ども。 **徳【豊かな心】**
- * 自らの健康と安全に心がけ、心身を鍛える子ども。 **体【健やかな体】**

知【確かな学力】

- ◆ 自ら学ぶ力の育成
- ◆ 授業のきまりの定着
- ◆ 言語活動の充実
- ◆ 学習支援プログラム（JP・GP）の分析
- ◆ 基礎基本の定着
- ◆ 授業形態の確立
- ◆ 実践的英語力の育成

【本年度の重点取組】

- 中1ギャップの解消
- 小中学校間の連携の強化

徳【豊かな心】

- ◆ 自ら律する力の育成
- ◆ 規範意識の育成
- ◆ 郷土愛の育成
- ◆ 道徳教育の充実
- ◆ 生活習慣の確立
- ◆ 地域活動への参加

体【健やかな体】

- ◆ 体力の向上
- ◆ 新体力テストの分析
- ◆ 体育的行事の充実
- ◆ 食育の充実
- ◆ 保健教育の充実
- ◆ 安全教育の充実

【重点取組の具体的内容について】

■ 「中1ギャップ」の解消に向けた取組の充実

- ① 中学校の先生による小学校への出前授業、小学生の中学校授業体験及び部活動体験。
- ② 小学生を対象にした、中学校学習発表会への見学会及び生徒会主催の学校説明会・部活動見学会。

■ 小中学校間の連携の強化に向けて

- ① 小学校及び中学校の教員の相互の授業参観及び小中合同研修会（夏季一日研修）等を通して、9年間を見通した学習指導・生徒指導の推進を図る。
 特に、今年度は研究主任を中心に英語教育・道徳教育について系統的教育課程の編成に取り組む。
- ② 発達上不安のある子ども（LD等支援の必要な子どもを含む）について、「個別の指導計画」及び「個に応じた指導」の引き継ぎを丁寧に行い、切れ目のない支援を心がける。
- ③ 学習形態の統一をはじめ、共通化の図れる教育活動についての連携を進める。
- ④ 小中連携の「しなやかな道徳」教育推進校の指定を活用し、道徳における小中連携のあり方を研究・推進する。

軸となる取組・活動

義務教育卒業時につけたい力																
■規範意識を身に付け、思いやりの心を持ち、自主的に判断し行動できる ＊自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行する態度 ＊思いやりの心をもって人と接するとともに、互いの個性や立場を尊重する態度 ＊法やまじりの意義を理解し、それらを守ることで集団生活の向上に努めようとする態度																
学年または学年区分ごとにめざす																
友だちと仲良くし、助け合える子 自分からすすんでがんばれる子	思いやりをもち、集団や社会のきまりを守り、身近な人々と協力し助け合える子	自分の思いをもち、相手の思いを受けとめ、希望と勇気をもってがんばれる子 法やまじりの意識を理解し、集団における自己の役割と責任を果たせる子	集団の一員としての自分の役割を認識し、友情を深め、自己の向上を図ろうとする態度と実践力を身に付ける	将来を展望しつつ、集団生活の中で、自律の精神をもって積極的に自他共に高めていこうとする態度と実践力を身に付ける	自律と友愛の精神をさらに高め、社会の一員としての自覚をもって、真理を探究し、理想の実現を目指して、前向きに取り組もうとする態度と実践力を身に付ける	小1 (1年)	小2 (2年)	小3 (3年)	小4 (4年)	小5 (5年)	小6 (6年)	中1 (7年)	中2 (8年)	中3 (9年)		
取組・活動																
< 柗野小学校・大宮小学校の共通の取組 > 学校に慣れる 持ち物の整理整頓 自分のことは自分です 学校のきまりを理解する 当番や係の仕事をやきり						< 柗野小学校の取組 > 集団生活の中で規則やルールを守り、よりよい生活を築こうとする。 行事に積極的に参加し、やり遂げる喜びと協力することの大切さを養う			< 大宮小学校の取組 > 集団の中で己の役割を理解する。最後まであきらめずに取り組む。			< 西賀茂中学校の取組 > ◇学校行事 ＊憲法講話 (5月)・人権講話 (12月) ＊小名浜第一中学校との交流 ◇学級活動 ＊毎日の学校生活における観察指導 ＊道徳教育や人権学習の充実 ◇生徒会活動 ＊朝のあいさつ運動・遅刻ゼロ運動 ＊服装点検・ベル席チェック				
< 中学校ブロックとしての取組 > 誰にでも温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる 自分でやらねばならない勉強や仕事をしっかりやろうとする心情を養う									困っている友だちに対して、思いやりの心を持って接しようとする態度を育てる 勇気をもって行動することの大切さに気づき、よいと思ったことは積極的に行っていこうとする態度を養う	相手のことを思いやり、親切にしようとする心情を育てる 自分でやろうと決めたことは、あきらめないうで、工夫して粘り強くやり遂げようとする意欲を育てる	相手の気持ちになって、互いに信頼し、励まし合って友情を深めていこうとする心情を育てる 進んでみんなのために働こうとする態度を養う	誰に対しても思いやりの心を持ち、常に相手の立場に立って物事を考え、優しく親切に接しようとする心情を育てる 集団の中で自分の役割を自覚し、主体的に責任を果たそうとする態度を養う	利害や損得にとらわれず、誰に対しても温かく思いやりの心を持ち、親切にしようとする心情を育てる 社会のために役立つ喜びを知って、進んで公共のために役立とうとする態度を養う	他の人々に対し、思いやりの心を持って接していこうとする、道徳的な態度を育てる 自分自身の弱い部分に流されず、しっかりと自分をもって努力していこうとする態度を育てる	人は関わり合いの中で生きていくことを感じ取り、感謝と思いやりの心を持って行動しようとする心情を育てる 自分で考えて行動し、自己の行為の結果に対して、責任を持つようとする心育てる	温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対して思いやりの心を持って接しようとする態度を育てる 加害者の立場に立つことよって、償うこと・許すことの難しさを知り、自らの行為が及ぼす結果まで深く考えなければならぬことに気づき、自らの行為に対し責任を持って行動しようとする態度を育てる

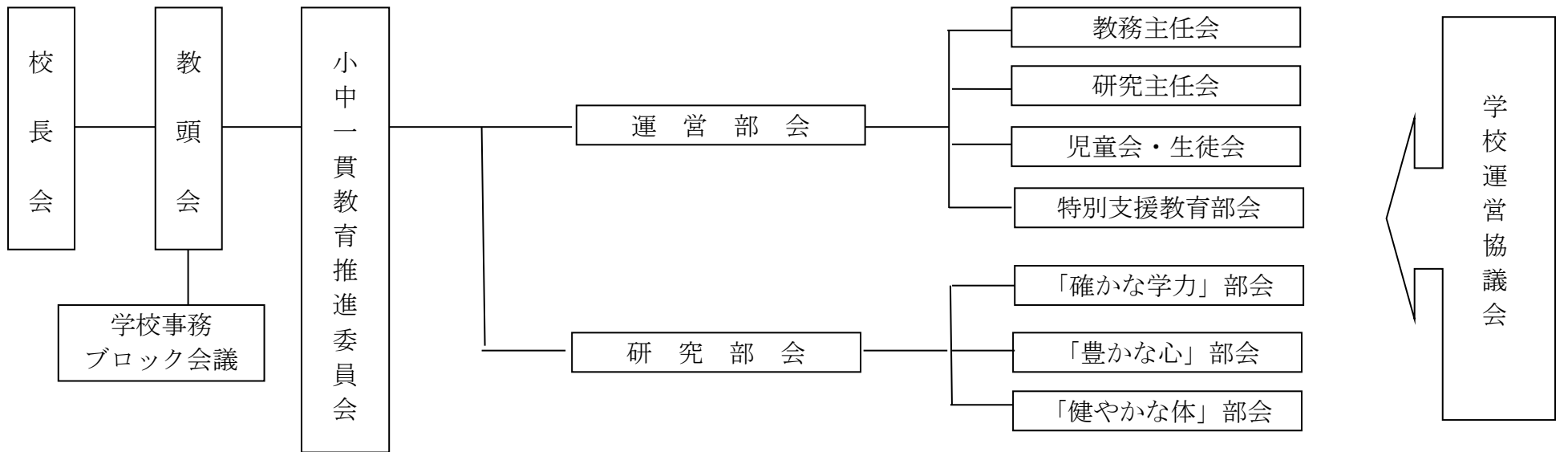
義務教育卒業時につけたい力 ■夢と誇りを持ち、社会をたくましく生き抜く力 ＊主体的に学びに向かう子ども ＊社会の一員として自己の責任を果たす子ども ＊未来へ向けて夢や志を持ち、実践する子ども								
学年または学年区分ごとにめざす 身近な地域や環境の中で様々な方にお世話になっていることに気づく わからないことを尋ねながら、解決しようとする 気づいたことや見つけたことを発表する 協力して働くことや取り組むことの大切さや楽しさがわかる 地域や生活の中で、困っている人の役に立つことや自分ができていることを考える 課題を解決する計画を立てて、取り組むことができる 日常生活や学習と将来の夢や生き方との関係に気づき、今できることやしなければならぬことを考え、努力しようとする 解決のための調査や情報収集等、適切な計画を立てて取り組むことができる 多様な方法を考え、主体的に解決する 獲得した情報に創意工夫を加え、より良い発信をする 体験を通して、働くことの大切さや苦勞・楽しさ、社会生活における役割やその大切さがわかる 社会における自らの役割や将来の生き方・働き方等を考えさせ、目標を立てて計画的に取り組む態度を身につけ、進路の選択・決定をする 小名浜第一中学校との交流、チャレンジ体験、平和学習を通して、社会の一員として自己の責任を果たす姿勢を身に付けさせるとともに、当たり前のように感じている日常の大切さを感じる事が出来るようになる								
小1 (1年)	小2 (2年)	小3 (3年)	小4 (4年)	小5 (5年)	小6 (6年)	中1 (7年)	中2 (8年)	中3 (9年)
取組・活動 <柘野小学校・大宮小学校の共通の取組> 学校たんけん 昔遊び・お手伝い まちたんけん いきものはかせ <柘野小> 大根の栽培 いきものはかせ <大宮小> サツマイモ・大根の栽培 地域の人々 <柘野小> 地域の野菜 地域の防災 <大宮小> 地域の店・工場・農業 モノづくりの殿堂・エコライフチャレンジ <柘野小> 福祉・共生 <大宮小> 福祉・共生 わくわく WORK LAND <柘野小> 防災 <大宮小> 環境 歴史・文化 茶道体験 <柘野小> 世界遺産 SDG s <大宮小> 平和・SDG s <西賀茂中学校の取組> ①「人権をテーマにした探究学習」 ②「ジョイ JOB LAND 学習」 ③「地域に暮らす一人として」 ①仕事探究 ②職業体験 ①わが街京都 ②キャリア教育 ③卒業探究 <中学校ブロックとしての取組> 幼児や異学年・保護者や地域の人々など様々な人と交流することを通して、児童の学ぶ意欲を高め、さらに言語活動の充実を図る 児童にとって身近にある伝統的なものや文化に触れること、そしてそれを伝えてくださる地域の方やお年寄りとの関わりをもつことにより、地域社会に目を向けるようにする 地域の方やお年寄り、障害のある方などとの関わりを通して、誰に対しても真心をもって接しようとする態度を養うとともに、誰もが住みやすい町づくりについて考える 自らが調べたり、考えたりしてわかったことをまとめ、わかりやすく発表できる力を養う 自分たちの暮らす地域を調べること、地域社会への愛着や地域に受け継がれてきた伝統や文化を大切にしようとする態度や地域を支える一員としての自覚を育成する 体験活動などを通して、生活は人々がそれぞれの役割を分担し、お互いに支え合い補い合う共存社会の中で成り立っていること、社会の仕組みなどを具体的に理解させ、自らの生き方について考えさせる 環境や平和について、自らができることを考え、話し合う活動を行うことで、意識と理解を高め、具体的な行動を促す ①人権に関わる学習で学んだこと、これらを学校生活に活かすことを目指して、身近な人権課題について探究する。 ②企業が抱えている課題を解決する活動を通して、社会で求められる力について考える。 具体的には、ジョイJOB LAND の活動を通じて、企業の課題を解決するためのアイデアについて探究する。 ③地域の文化や伝統を再発見するため、調べ学習やフィールドワークを通して、主体的に関わる姿勢を身に付ける。 ①興味のある職業を調べることで、「楽しさ」、「やりがい」、「苦勞」などを班で共有し、仕事について関心を深め、探究する。 また、商品開発の重要性を考えながら、「新しい文房具」を開発する。 ②チャレンジ体験を通して、働くことの意味や、自分自身に必要なスキル・資質について探究する。 ①東京の町を探索し、京都に取り入れられることを見つけ、「魅力ある町づくり」を探究する。特に、東京の町を「異文化理解」、「自然体験」、「観光と文化」の視点から探究する。 ②自己分析や探究の取り組みを通して、社会課題とのつながりに気が付き、自分の将来を見据え、進路実現に取り組む。 ③自らの興味に沿ったテーマに沿ったゼミに所属する。そこで課題を立てて、情報を収集・分析、それをまとめて発表を行う。								

学びの約束・ルール

項目	小1 (1年)	小2 (2年)	小3 (3年)	小4 (4年)	小5 (5年)	小6 (6年)	中1 (7年)	中2 (8年)	中3 (9年)
話し方・聞き方・読み方	全員に聞こえる声の大きさで話す 話をする人の方を向いて聞く 姿勢を正しくして大きな声で読む		相手や場にあった話し方をする うなずくなどして、自分の考えと比べながら聞く 姿勢を正しくしてはっきり大きな声で読む		目的や意図をはっきりさせてわかりやすく話す 必要に応じてメモを取りながら聞く 姿勢を正しくして相手を意識して読む		相手の意見を受けて、自分の考えを的確に表現する 話をする人を見て、正しい姿勢で、必要に応じてメモを取り、自分の考えと比較しながら聞く 姿勢を正しくして相手を意識しその場に応じた読み方をする		
ノートづくり	マス目からはみ出さないように、正しく丁寧な字で書く 行をかえて、見やすく書く		マス目や行をほどよくあけて、見やすく書く 大事なところは線を引いたり囲んだりする		学習内容や大事な事柄が見やすいノートを作る 先生や友だちの発言、自分の考え、学習のポイントなどを付け加えるなどして、見やすくわかりやすくまとめる		学習内容を整理し、見直しに活用できるノートを作る 先生や友だちの発言、自分の考え、学習のポイントなどを付け加えるなどして、見やすくわかりやすくまとめる		
適切なあいさつ・言葉づかい	*大きな声で元気よくあいさつや返事をする 正しいあいさつや返事の仕方を理解する				*相手を意識したあいさつや言葉遣いをする 自ら進んであいさつをし、低学年の良い見本となる ながらあいさつをせず、相手の方を向いてあいさつする 丁寧語・尊敬語・謙譲語を理解し、使うようにする		*その場に応じたあいさつや言葉遣いをする その場の状況や相手の状態を考えてあいさつをする 相手が気持ちいいと感じることのできるあいさつをする 丁寧語・尊敬語・謙譲語を適切に使う 相手に伝わるような言葉遣いをする		

小中一貫教育推進体制

■小中一貫教育を推進する組織



※各組織の会議は、原則として年3回（年度当初・夏休み期間・年度末）開催し、必要があれば適宜開催する。

■各組織の職務内容

組織名	職務内容	各部運営担当	
校長会	小中一貫教育の推進上の課題を定期的に協議するとともに、各組織の指導に当たる。		
教頭会	校長会と連携して各組織を指導、助言する。主に、家庭との連携強化に努める。学校事務ブロック会議と連携して、学校事務の効率化を図る。	教頭 事務職員	
小中一貫教育推進委員会	小中一貫教育の推進に係る事項を協議する	管理職・教務主任 各部代表	
運営部会	教務主任会	各組織との連絡調整及び指導、助言に当たる。カリキュラム編成を中心に行う。	副教頭・教務主任
	研究主任会	「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」に関わる授業を企画・運営する。	副教頭・研究主任
	児童会・生徒会	小学生と中学生の交流に関わる行事を企画・運営する。	副教頭・児童会・生徒会 会・生徒指導担当者
	特別支援教育部会	個別の指導計画に基づく授業の在り方や特別に支援を要する児童生徒の情報を密に交換する。	副教頭・総合育成 支援教育主任
研究部会	「確かな学力」部会	学力・進路保障に係る部会で、自ら意欲的に学ぶ子どもを育成する授業のあり方について研究する。	研究主任 進路指導主事
	「豊かな心」部会	豊かな感性・情操を育む教育に係る部会で、お互いの生き方や価値観の違いを認め合い、相手を尊重する気持ちを持って行動できる子どもを育てる授業のあり方について研究する。	道徳推進教師 総合学習担当
	「健やかな体」部会	学びの土台づくりに係る部会で、自ら身体を動かそう（鍛えよう）とする子どもを育成する授業のあり方について研究する。	保健主事 食育担当
学校運営協議会	学校の自己評価に対して評価を行うとともに、学校運営に積極的に関わる。	有識者 地域代表 保護者代表	

家庭・地域との連携・協力に向けた取組

■情報発信の充実

*学校だよりや学校ホームページ等の内容の充実を図り、学校教育活動のようすを積極的に発信する。

■地域との連携行事の推進

*休業中の夜間パトロール、地域の祭りのパトロールなど、学校・PTA・地域団体が連携した取組を推進していく。

■学校評価活動の有効活用

*学校評価アンケートに小中共通の項目を設定し、9年間を通じて子ども・保護者・地域の評価の移り変わり分析し、今後の学校教育活動に生かしていく。